



## ARIS

# SAP ソリューション マネージャに対するインターフェイス

バージョン 10.0 - SERVICE RELEASE 14

2021 年 4 月

This document applies to ARIS Version 10.0 and to all subsequent releases.

Specifications contained herein are subject to change and these changes will be reported in subsequent release notes or new editions.

Copyright © 2010 - 2021 Software AG, Darmstadt, Germany and/or Software AG USA Inc., Reston, VA, USA, and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.

The name Software AG and all Software AG product names are either trademarks or registered trademarks of Software AG and/or Software AG USA Inc. and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

Detailed information on trademarks and patents owned by Software AG and/or its subsidiaries is located at <https://softwareag.com/licenses>.

Use of this software is subject to adherence to Software AG's licensing conditions and terms. These terms are part of the product documentation, located at <https://softwareag.com/licenses> and/or in the root installation directory of the licensed product(s).

This software may include portions of third-party products. For third-party copyright notices, license terms, additional rights or restrictions, please refer to "License Texts, Copyright Notices and Disclaimers of Third Party Products". For certain specific third-party license restrictions, please refer to section E of the Legal Notices available under "License Terms and Conditions for Use of Software AG Products / Copyright and Trademark Notices of Software AG Products". These documents are part of the product documentation, located at <https://softwareag.com/licenses> and/or in the root installation directory of the licensed product(s).

## 目次

1	システム構成.....	1
1.1	SAP ソリューション マネージャ 7.2 の使用 .....	1
1.2	SAP ソリューション マネージャ 7.1 の使用 .....	1
1.2.1	ARIS .....	2
1.2.2	SAP システム .....	4
1.2.2.1	SAP 移送依頼 .....	4
1.2.2.2	SAP システム要件と権限 .....	7
1.2.2.3	SAP 同期の権限 .....	7
2	法的情報.....	10
2.1	ドキュメンテーションのスコープ .....	10
2.2	サポート .....	10

## 1 システム構成

ARIS には、ARIS と SAP® ソリューション マネージャを接続するためのさまざまな製品とインターフェイスがあります。SAP® ソリューション マネージャのバージョンによっては、ほかの調整が必要になる場合があります。

詳細情報は、追加文書とヘルプ システムにあります。詳細は、DVD にある、または ARIS ダウンロード センター『<https://aris.softwareag.com/参照>』または Empower『<https://empower.softwareag.com/参照>』からダウンロードできる『ARIS for SAP® Solutions』マニュアルおよび『SAP Requirements for SAP® Solutions』を参照してください。

### 1.1 SAP ソリューション マネージャ 7.2 の使用

ARIS および SAP Solution Manager 7.2 は HTTP アクセスを介して通信します。そのため、要件が SAP システムで満たされていないかもしれません。一般的に、システムは移送依頼『4ページ』を必要としなくなります。SAP® JCo は、実行可能ファイルの実行する場合に、ARIS Architect または ARIS Designer のみに必要です。

同期のための移送依頼とサーバー側の sapjco3.jar は、データ移送にのみ必要です。詳細は、DVD 、ARIS ダウンロード センター『<https://aris.softwareag.com/参照>』または Empower『<https://empower.softwareag.com/参照>』にある『Migrating SAP projects to SAP® Solution Manager 7.2 solutions』をご覧ください。

SAP ソリューション マネージャ 7.2 を使用するには、次の条件が満たされている必要があります：

- **認証の指定**

必要な権限は、ZSOLDOCAPIACCESS.SAP プロファイル (ARIS DVD\Add-ons\ARIS\_Architect\_extension\_pack\_SAP\Authentication を参照) に含まれています。プロファイルは、PFCG 実行可能ファイルを使用して SAP システムにインポートされます。

- **サービスの有効化**

システムへの HTTP アクセスを許可するには、PROCESSMANAGEMENT サービスを有効化する必要があります (default\_host/sap/opu/odata/sap)。サービスは SICF 実行可能ファイルを使用して有効化します。

- **ウイルス スキャン プロファイルの有効化**

使用しているウイルス スキャナーのため問題が発生することを回避するために、デフォルトのウイルス スキャン プロファイルが定義されます (VSCANPROFILE 実行可能ファイル)。

ウイルス スキャン プロファイルを無効化して有効化してください (/IWFND/VIRUS\_SCAN 実行可能ファイル)。問題が発生した場合は、/IWFND/ERROR\_LOG 実行可能ファイルを使用してエラー プロトコルを確認できます。

### 1.2 SAP ソリューション マネージャ 7.1 の使用

ARIS には、ARIS と SAP® ソリューション マネージャを接続するためのさまざまな製品とインターフェイスがあります。この章ではインターフェイスについて説明します。

提供されている機能によっては、ほかの調整が必要になる場合があります。

- SAP 同期を使用する
- カスタマイズ実行可能ファイル/ビューを使用する

- ARIS Publisher を使用する場合は、SAP® システムへの接続を設定する必要があります。
- ユーザーが SAP® システムで作成され、必要な権限『7ページ』が与えられていることを確認します。  
詳細情報は、追加文書とヘルプ システムにあります。詳細は、DVD にある、または ARIS ダウンロード センター『<https://aris.softwareag.com/参照>』または Empower『<https://empower.softwareag.com/参照>』からダウンロードできる『ARIS for SAP Solutions』マニュアルおよび『SAP Requirements』を参照してください。

## 1.2.1 ARIS

ARIS のインターフェイスを使用すると、ARIS と SAP® ソリューション マネージャを接続するために必要なすべての機能が使用できます。

必要な機能の範囲によっては、sapjco3.jar ファイルをクライアントのコンピューター上または ARIS サーバー、あるいはその両方に配置する必要があります。このコネクタは、SAP® アクセス パラメーターを使用して SAP® システムへの接続を作成するために使用されます。ライセンス上の理由から、これらのファイルは自動的にインストールされていない場合があります。

sapjco3.jar は、次の機能の実行に必要です。

- 同期 (ARIS サーバー)
- 実行可能ファイルの実行 (クライアント)
- 設計を表示 (クライアント)
- 設定を表示 (クライアント)
- 文書 (クライアント)

これらのクライアント機能を実行するには、ローカルの SAP® GUI for Windows をインストールする必要があります。詳細は、DVD にある、または ARIS ダウンロード センター『<https://aris.softwareag.com/参照>』または Empower『<https://empower.softwareag.com/参照>』からダウンロードできる『ARIS for SAP』と『SAP Requirements』を参照してください。

次のグラフィックは、上の機能を実行する際の各システムとコンポーネントのインタラクションを示します。

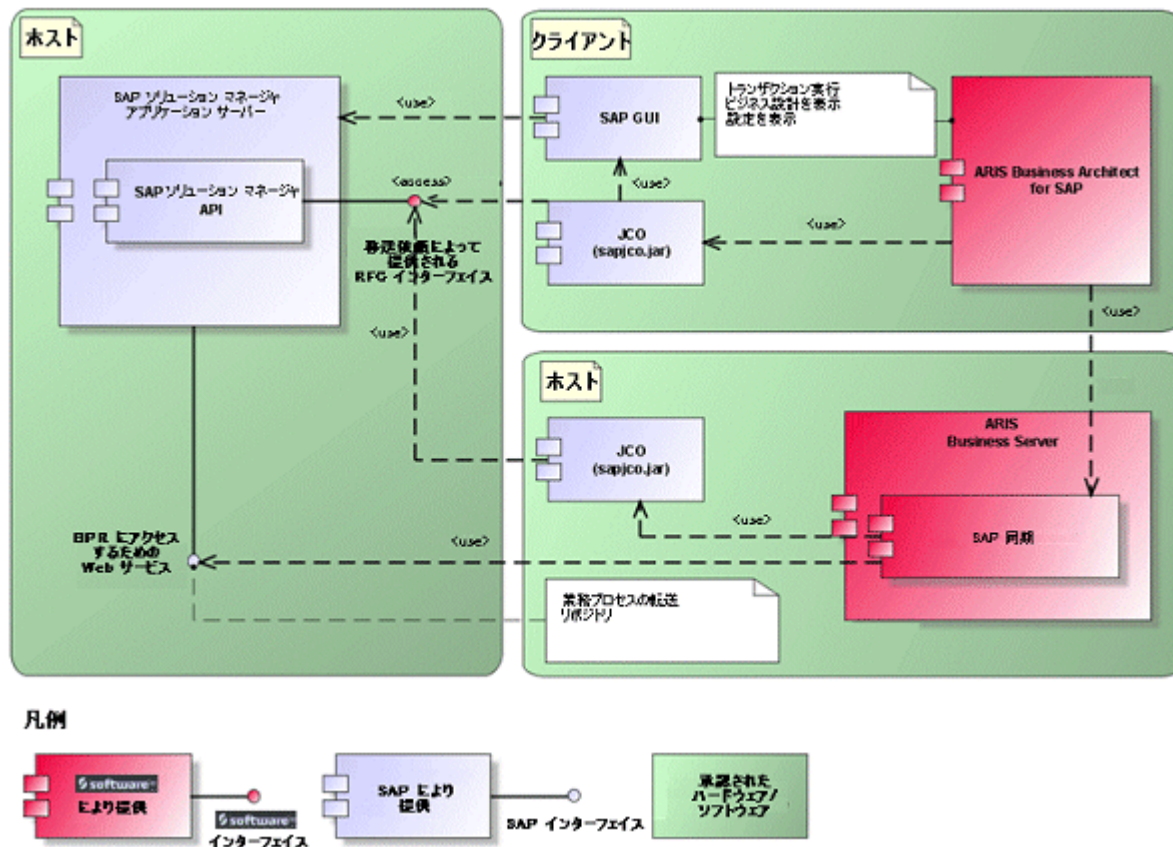


図 1: SAP® 同期、実行可能ファイルの実行、設計の表示

同期の機能を使用するには、サーバーで SAP® Java Connector を使用できるようにしてください。さらに、SAP® ソリューション マネージャが必要です。詳細は、DVD にある、または ARIS ダウンロード センター『<https://aris.softwareag.com/>参照』または Empower『<https://empower.softwareag.com/>参照』からダウンロードできる『ARIS for SAP® Solutions』マニュアルおよび『SAP Requirements for SAP® Solutions』を参照してください。

Software AG RFC インターフェイスは、SAP® ソリューション マネージャの内部 SAP API をカプセル化します。インターフェイスによるコールはすべて、SAP 専用ファンクションと SAP により使用されるファンクションを使用します。これにより、SAP における変更がインターフェイスに対して最大限に透過性を持つようになります。

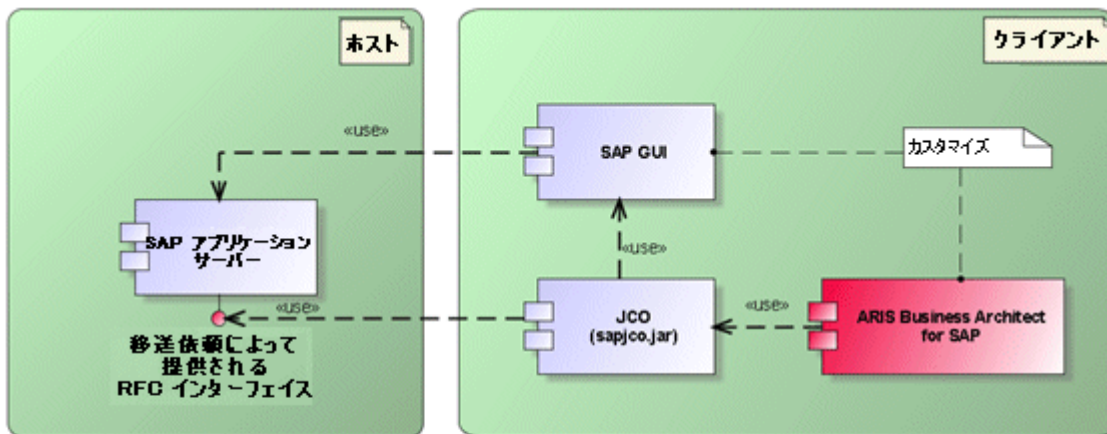
SAP® ソリューション マネージャ 7.2 を使用している場合は、移送依頼は必要ではありません。

ARIS と SAP® ソリューション マネージャ 7.1 間の SAP® 同期を確実に使用できるようにするため、管理者は現在の移送依頼を SAP システムにインポートする必要があります。

移送依頼は、インストール媒体 (.../Add-ons/ARIS\_Architect\_extension\_pack\_SAP/ABAP/Solution Manager/) にあります。汎用モジュールは、/IDS/ARIS\_SOLAR\_001 ファンクション グループの /IDS/ARIS\_SOLAR パッケージの中に作成されます。



次のグラフィックは、カスタマイズ トランザクション/ビューの実行（クライアント）機能を実行する際の各システムとコンポーネントのインタラクションを示します。



凡例



図 2: カスタマイズ

カスタマイジングへの RFC インターフェイスは合理化されており、ARIS でパラメーターとして指定したビューを使用してビュー編集実行可能ファイルを呼び出すために使用できる機能モジュールが 1 つあります。

## 1.2.2 SAP システム

提供される機能にしたがって、さまざまな移送依頼をインポートし、ユーザーを作成して権限を割り当てる必要があります。

### 1.2.2.1 SAP 移送依頼

SAP システムにアクセスするためには ARIS では特定の機能モジュールが必要となります。

#### SAP® 同期

SAP® ソリューション マネージャ 7.2 を使用している場合は、移送依頼は必要ではありません。

ARIS と SAP® ソリューション マネージャ 7.1 間の SAP® 同期を確実に使用できるようにするため、管理者は現在の移送依頼を SAP システムにインポートする必要があります。

移送依頼は、インストール媒体 (.../Add-ons/ARIS\_Architect\_extension\_pack\_SAP/ABAP/Solution Manager/) にあります。汎用モジュールは、/IDS/ARIS\_SOLAR\_001 ファンクション グループの /IDS/ARIS\_SOLAR パッケージの中に作成されます。

次のオブジェクトが移送依頼に含まれます。

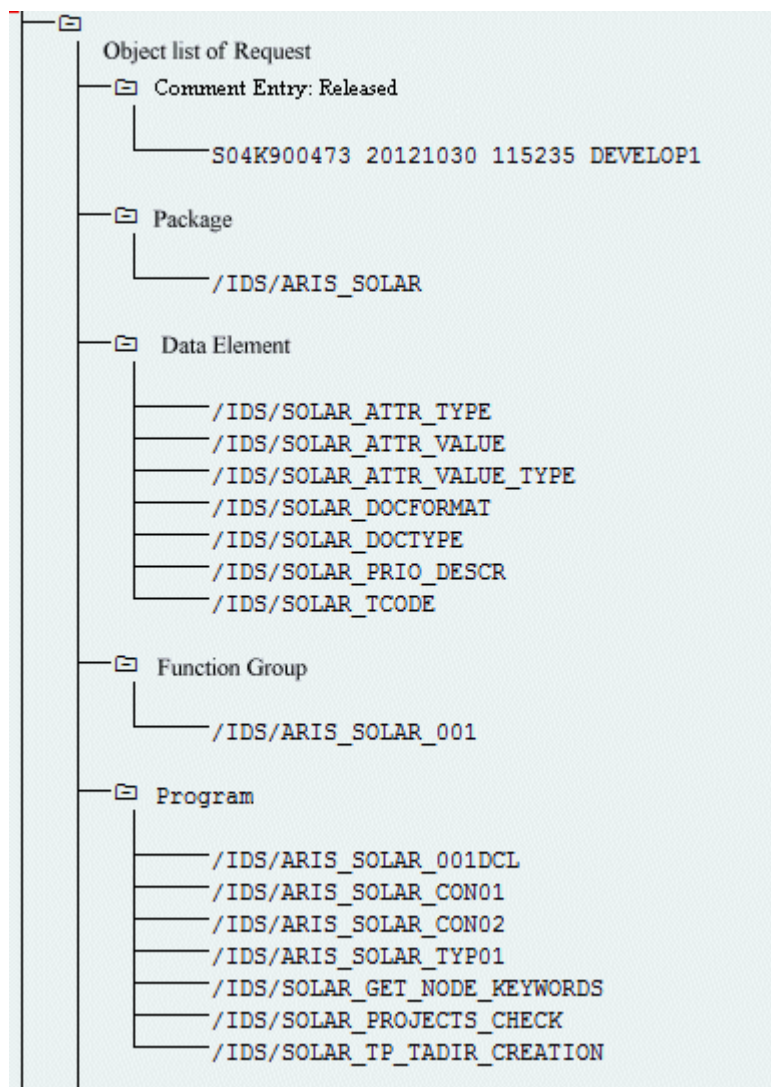


図 3: 移送依頼: SAP 同期 (1)



Table	
/IDS/SOLAR_ATTR_LINE	
/IDS/SOLAR_COMP_LINE	
/IDS/SOLAR_DOCT_TO_STATES_LINE	
/IDS/SOLAR_FUNC_VERS_S	
/IDS/SOLAR_GLATT_LINE	
/IDS/SOLAR_INST_COMPS_S	
/IDS/SOLAR_KEYWORD_LINE	
/IDS/SOLAR_MAPPING_LINE	
/IDS/SOLAR_NODE_S	
/IDS/SOLAR_PROD_COMP_S	
/IDS/SOLAR_PROD_CONFLICT_S	
/IDS/SOLAR_PROD_INSTANCE_S	
/IDS/SOLAR_PROJECT_STATUS_S	
/IDS/SOLAR_PROJ_DOC	
/IDS/SOLAR_PROJ_PERMISSION_S	
/IDS/SOLAR_ROLE_LINE	
/IDS/SOLAR_SELECT_VALUE_LINE	
/IDS/SOLAR_STARTREL_2_S	
/IDS/SOLAR_STARTREL_LINE	
/IDS/SOLAR_TPROJECTI_EXTD_LINE	
/IDS/SOLAR_TPROJECTI_LINE	
/IDS/SOLAR_TRANSACT_LINE	
/IDS/SOLAR_USED_CONTEXT_LINE	
/IDS/SOLAR_VERSIONS_S	
/IDS/SOLAR_VERS_CONFLICT_S	
Table Type	
/IDS/SOLAR_ATTR_SELECT_VALUES	
/IDS/SOLAR_ATTR_TAB	
/IDS/SOLAR_COMP	
/IDS/SOLAR_COMPS	
/IDS/SOLAR_DOCT_STATES_MAPPING	
/IDS/SOLAR_GLATT_TAB	
/IDS/SOLAR_KEYWORD_T	
/IDS/SOLAR_MAPPING	
/IDS/SOLAR_PROD_COMP_T	
/IDS/SOLAR_PROD_CONFLICT_T	
/IDS/SOLAR_PROJ_DOCS	
/IDS/SOLAR_STARTREL_TAB	
/IDS/SOLAR_TPROJECTI_EXTD_TAB	
/IDS/SOLAR_TPROJECTI_TAB	
/IDS/SOLAR_USED_CONTEXT	
/IDS/SOLAR_VERSIONS_T	
/IDS/SOLAR_VERS_CONFLICT_T	

図 4: 移送依頼: SAP 同期 (2)

## カスタマイズ

IMG トランザクション (カスタマイズ トランザクション) を開始して、ARIS からカスタマイズ ビューを開くことができるようにするには、現在の移送依頼を SAP® システムにインポートする必要があります。移送依頼は、インストール媒体の Add-ons\ARIS Architect extension pack SAP\ABAP\Customizing にあります。汎用モジュール

IDS/VIEW\_MAINTENANCE\_CALL は、IDS/ARIS\_CUSTOMIZING ファンクション グループに作成されます。この汎用グループは、IDS/ARIS\_CUSTOMIZING パッケージに割り当てられます。

次のオブジェクトが移送依頼に含まれます。

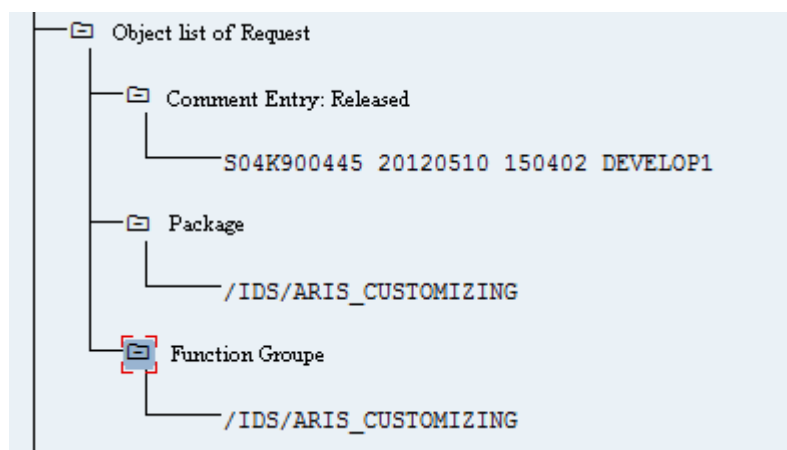


図 5: 移送依頼: カスタマイズ

### 1.2.2.2 SAP システム要件と権限

ARIS for SAP ソリューションを使用する場合は、追加要件を満たす必要があります。詳細は、DVD にある、または ARIS ダウンロード センター『<https://aris.softwareag.com/>参照』または Empower『<https://empower.softwareag.com/>参照』からダウンロードできる『ARIS for SAP® Solutions』マニュアルおよび『SAP Requirements for SAP® Solutions』を参照してください。

- ユーザーが SAP システムで作成され、RFC 権限を与えられていることを確認します。
- SAP ポート sapgw00 3300/tcp および sapdp00 3200/tcp が、クライアント コンピューター (C:\Windows\system32/drivers/etc/services) の Windows Services ファイルで有効になっていることを確認してください。通常、SAP GUI をインストールする際に、これらのポートは自動的に追加されます。
- アクセス用サーバー グループ (SAP ルーター) を使用する場合は、順序どおりに SAP ポートを手動で入力する必要があります。デフォルトでは、ポート番号の構文は、「3300 + 使用している <SAP システム番号>」が使用されます。たとえば、システム番号が「03」の場合は、ポート番号「3303」を入力する必要があります。順序どおりに入力されていないエントリは無視されます。

### 1.2.2.3 SAP 同期の権限

この機能にアクセスするためには、ユーザーに特定のロールが SAP システムで割り当てられている必要があります。これにより、ユーザーは必要な権限のすべてを持つことができます。次のロールを割り当てる必要があります。

- 事前定義されたロール「SAP\_SOLAR01\_ALL」
- 事前定義されたロール「SAP\_SMSY\_ALL」(読取権限)
- RFC 権限で定義する必要があるロール

定義する必要があるロールは、PFCG 実行可能ファイルを使用して作成します。認証オブジェクト S\_RFC および S\_RFCACL をロールに割り当てます。

## 認証オブジェクト S\_RFC の値

入力する必要のある値を図で示します。

[ACTVT] ボックスで [実行] アクティビティを選択します。

[RFC\_NAME] ボックスで、保護する RFC オブジェクトの S\_RFC 認証オブジェクトに入力するすべての名前を見つけます。選択した入力項目 SDIFRUNTIME、STFC、IDS/ARIS\_SOLAR\_001 を追加する必要があります。

[RFC\_TYPE] ボックスで、[ファンクション グループ] タイプを選択します。



図 6: 「S\_RFC」認証オブジェクト

## 認証オブジェクト S\_RFCACL の値

認証オブジェクト S\_RFCACL にはすべての権限が必要です。



図 7: 「S\_RFCACL」認証オブジェクト

## 2 法的情報

### 2.1 ドキュメンテーションの範囲

提供されている情報では、印刷が行われた時点における設定および機能について説明しています。ドキュメンテーションとソフトウェアの生産サイクルが異なるため、設定や機能に関する説明が、実際の設定や機能と異なることがあります。相違に関する情報は製品に付属しているリリース ノートに記載されています。リリース ノートをお読みになり、記載されている情報を考慮して製品をインストール、設定、および使用してください。

Software AG によって提供されるコンサルティング サービスを利用せずにシステムの技術的機能と業務機能をインストールする場合は、インストールするシステム、その目的、対象システム、さまざまな依存性などに関して広範な知識が必要です。プラットフォームの数が多く、ハードウェアとソフトウェアの設定が相互に依存するので、特定のインストール シナリオしか説明できません。すべての設定と依存性を記述することはできません。

各種の技術を組み合わせる場合は、製造元の指示（特にインターネット ページに公開されたリリースに関するお知らせ）に従ってください。承認されているサードパーティ システムが正しく機能すること、および正しくインストールされることの保証はいたしかねます。また、サードパーティ システムはサポートしていません。必ず、該当の製造元のインストール マニュアルに記載されている手順に従ってください。問題がある場合は、製造元にお問い合わせください。

サードパーティ システムのインストールにサポートが必要な場合は、最寄りの Software AG の販売部門にお問い合わせください。このような製造元またはお客様固有の変更は、Software AG の標準ソフトウェア保守契約の対象ではありません。このような変更は、それを特別に要請し、同意した場合にのみ実行できます。

### 2.2 サポート

ご自身では実行できない特定のインストールに関するご質問がございましたら、最寄りの Software AG の販売部門（フィールド サポート）『<https://www.softwareag.com/corporate/company/global/offices/default.html>参照』にお問い合わせください。詳細情報を入手し、サポートを受けるには、弊社の Web サイトをご利用ください。

有効なサポート契約をお持ちのお客様は、次の電話番号で各国からグローバル サポート ARIS にお問い合わせできます。+800 ARISHelp (+800 2747 4357)。ご使用の電話会社でこの電話番号がサポートされていない場合は、グローバル サポートの連絡先一覧 を参照してください。

#### ARIS COMMUNITY

情報の検索、専門的な記事、問題解決法、ビデオ、ほかの ARIS ユーザーとのコミュニケーション。まだアカウントをお持ちでない場合は、ARIS Community でご登録ください。

#### SOFTWARE AG EMPOWER ポータル

Software AG 文書 Web サイト『<https://empower.softwareag.com/>参照』で文書を参照できます。このサイトは、Software AG の製品サポート サイトである Empower の資格情報が必要です。まだ Empower のアカウントをお持ちでない場合は、名前、会社、会社の電子メール アドレスを添えて [empower@softwareag.com](mailto:empower@softwareag.com) 『<mailto:empower@softwareag.com>参照』まで電子メールを送信して、アカウントの取得をご依頼ください。

アカウントをお持ちでない場合は、TECHcommunity Web サイトにある数多くのリンクをご利用いただけます。ご質問がある場合は、グローバル サポートの連絡先一覧にて最寄りの電話番号、あるいはフリーダイヤルを検索できますので、お電話にてお問い合わせください。

## TECHCOMMUNITY

TECHcommunity Web サイトでは、文書やその他の技術情報を次のように参照できます。

- Software AG の専門家が管理するオンラインの議論フォーラムの使用。質問したり、ベスト プラクティスについて議論したり、ほかのお客様が Software AG のテクノロジーをどのように使用しているのかを学んだりできます。
- 記事、コードのサンプル、デモ、チュートリアルへのアクセス。
- オープン スタandardと Web テクノロジーを議論する外部 Web サイトへのリンクの検索。
- 製品情報へのアクセス (TECHcommunity の資格情報がある場合)。資格情報がない場合は、登録して関心がある分野の文書を指定する必要があります。

## EMPOWER (ログオンする必要があります)

Empower のアカウントがあれば、以下のサイトを利用して詳細な情報を検索したり、サポートを受けたりできます。

- Software AG Empower 製品サポート Web サイトで、製品情報を検索できます。
- 修正に関する情報を得る場合や、早期警告、技術文書、ナレッジ ベースの記事を読む場合には、ナレッジ センターにアクセスしてください。
- アカウントがあれば、Empower の eService セクションを利用してオンラインでサポート インシデントを開くことができます。
- 機能や改善の依頼を提出する場合、製品の使用可能性の情報を得る場合、製品をダウンロードする場合には、製品にアクセスしてください。

## SOFTWARE AG MANAGED LEARNINGS

ノートパソコンやタブレット、スマートフォンから、さらに多くの情報とトレーニングを入手しましょう。成功に必要な知識を手に入れ、Software AG からのエキスパート トレーニングを利用してすべてのプロジェクトを成功させましょう。

アカウントをお持ちでない場合は、お客様またはパートナーとしてご登録ください。